

新しい場所・新しい出会い



子どもが安心して過ごせるように、
担当制保育を導入しています



園では保育者がお母さん

園という新しい場所にやってきた0歳児。できるだけ家庭に近い、落ち着ける環境づくりを心掛けています。食事や排泄に同じ保育者が同じ手順で関わることで信頼関係を築き、生活リズムと情緒の安定を促します。同じ人が毎日待っていてくれる。そんな環境だからこそ、子どもたちにとって心やすらく第二の家庭となるのです。



指さしから始まる絵本の世界

言葉もままならない0歳の子が指をさした先は、絵本でした。「この絵本とって♪」と小さな手で示したサインに応じ、保育者が抱っこして絵本を取ります。「みんなで」ではなく「わたしとだけ」のコミュニケーションで絵本の世界へ。この絵本がお気に入りの一冊に加わることを願って。



目と目を合わせた丁寧なコミュニケーション

まずは子どもたちの気持ちに愛情をもって寄り添うこと。どんな小さなサインもキャッチできるように、目と目を合わせて語り掛けるコミュニケーションを大切にしています。子どもたちの世界に溶け込み、一人ひとりにそつと言葉と愛情を手渡すように……。

一人ひとりの発達に沿った遊びを

月齢差が大きい0歳児が興味を示す遊びは様々です。体を大きく使った遊びから、指先を使う遊びまで、たくさんのおもちゃを手の届く場所にスタンバイ。お部屋を探索しておもちゃを選択、そこから子どもたちの主体性は始まります。子どもたちの「できた!」「やったあ〜!」という気持ちを大事に育てます。

探索的遊び

落とす・つまむ・倒す・転がす・ひっくり返す



ポットン
落とし

反身活動

触る・掴む・引っ張る・持つ・離す



ムジュー

粗大遊び

ずり這い・登る・出る・入る・歩く



ムカゲ

好奇心の僕やかな芽生え

1-2
歳児

「やりたい気持ち」を
受け止めてもらうことで
世界が大きく広がります



おままごと
模倣する、
イメージの共有

プラステン
積み、並べ



ひも通し
つまみはさみ、
ひもを通す



ここにあるのはあたたかい見守り

一人ひとりを大切に、発達に応じた担当制保育。「じぶんでやってみよう」という好奇心が芽生えてくるこの時期は、保育者がそばでしっかりと見守りながら、機会を見逃すことなく主体性を育みます。そして、「できた!」喜びも一緒に分かち合い、信頼関係をより深めていきます。



同じものがいつも同じ場所にある

子どもたちは、同じ玩具がいつも同じ場所にあることを知っています。なぜなら片付けは私たち保育者が行うからです。子どもたちに「片付けをしてね」とは伝えませんが、私たちが片付ける姿をしっかりと見ています。そして、いつも片付けられているはずのスペースが散らかっていると、いつしか自分で片付けをするようになってきます。その気づきこそが私たちのねらいなのです。



自分とお友達の存在

0歳では「わたしだけの先生」だったのが、この時期から「みんなの先生」になり、食事でも数人ずつで食べるが増えていきます。少しずつ集団に変わっていくことで、お友達の存在に気づき、一緒に遊ぶ喜びや楽しさを経験します。たまにはお友達と衝突することもあります。成長の過程で自我が芽生えた証拠。毎日同じリズムを守り、生活面の自立と情緒の安定を目指します。

